

# 医療費助成『通院』小学6年生まで拡大

## 市民の願いが一步前進

小田桐たかし市議は、3月8～14日まで開催されたH25年度一般会計予算審査特別委員会で子どもの福祉充実について取り上げました。

### 医療費助成：通院『小三』から『小六』へ

小田桐市議は、通院を現在の小学三年生から中学三年生まで拡大した場合の財政負担を試算。「中学三年生まで拡大しても7100万円程度。H25年度一般会計予算が498億円を月25万円の家計で例えれば、月356円（1日12円）のやりくりでできる。拡大すべし」と提案しました。市長は財政を理由に段階的引き上げを表明。当面、「通院で小学校六年生まで」と回答しました。



### 保育料の減免制度：保育料決定通知に記載

東葛地域で保育料が一番高いのに、減免制度の周知はやらない：小田桐市議の告発で、25年度の保育料決定通知書に減免制度の記載がされることになりました。大いに活用しましょう。

### ワクチンの無料化が継続・安全性の情報収集を

昨年の運動で無料化継続を勝ち取った小児3ワクチン（子宮頸がんワクチン、肺炎球菌ワクチン、ヒブワクチン）接種事業。しかし、都内等では子宮頸がんワクチンにおける副作用が報道されています。

小田桐市議は、副作用の情報収集、科学的安全性の確保を提起。市当局は「現時点で市内で副作用は報告されていないが、情報把握を行う」と答弁しました。

### 学童保育の計画的整備を

小山小学校の学童クラブでは、定員を大幅に超える入園希望があったものの、増築計画すらありません。小田桐市議は「入園対象年齢の拡大も含め、計画的な整備を」と提起。市当局は「対象年齢等は今後議論する。小山小の学童は希望者に応えられるよう調整中」と答弁しました。



日本共産党市議会議員

# 小田桐たかし